

対象者：「レボドパ含有製剤で治療中のパーキンソン病におけるウェアリングオフ現象の改善」に対し、ノウリアストを新たに服用された方（1,318名）

目的&方法：ノウリアストの長期使用における安全性、有効性の知見を得るために、下記項目について解析します。
《解析項目》

- 1) 解析対象者の構成に関する事項（登録者数、解析対象者数、除外者数・その理由等）
- 2) 安全性に関する事項
 - ①副作用・感染症の発現状況（種類及び発現率等）
 - ②安全性に影響を及ぼすと考えられる要因の検討
 - ③重篤な有害事象の発現状況
- 3) 有効性に関する事項
 - ①有効性判定に基づく有効率
 - ②有効性に影響を及ぼすと考えられる要因の検討

得られた結果は、適正使用推進および安全確保の目的のため、学会、論文発表という形で広く公開いたします。GPSP省令下における特定使用成績調査の目的の範囲から逸脱した、用法用量外の使用や未承認の効能効果等に関する検討等は実施いたしません。

利用する情報：2013年5月（本剤販売開始）～2020年3月の間、日常診療下で得られた臨床検査値、薬剤使用状況、精神症状等の有害事象発現情報等。
患者さんお一人あたりの観察期間は、本剤投与開始から1年です。
ただし、1年以内に本剤の服用をやめた場合は、その時点までの情報について収集させていただきました。

調査実施：協和キリン株式会社
学会・論文発表：北野病院医師 高橋牧郎 ・ 協和キリン株式会社
解析委託機関：株式会社CACクロア 等

本研究における情報の利用期間：2013年5月～2023年12月

個人情報の取扱い：当該データは、医療機関で氏名の代わりに特別な番号を使用して匿名化された後、当社に提供されています。患者さんの個人情報は容易に個人が識別できないようにして提供されており、当社研究者が患者さん個人を特定することはありません。